

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
令和2年度 原子力施設等防災対策等委託費事業

第1回 原子力災害医療中核人材研修（量研） 募集要項

本研修は、原子力規制庁より令和2年度原子力施設等防災対策等委託費事業として量子科学技術研究開発機構（以下、「量研」という。）、弘前大学、福島県立医科大学、広島大学及び長崎大学がそれぞれ受託している研修事業の一環で、今回の募集要項は量研が主催する2回の研修のうちの第1回目の御案内となります。

なお、本研修は新型コロナウイルス感染症対策専門家会議において提言された「新しい生活様式」を踏まえ、感染拡大防止対策及び衛生環境整備に努めてまいります。受講生におかれましても、感染拡大の予防に御協力いただきますようお願い申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため研修の中止、中断があることも御理解のほどお願いいたします。（別紙「新型コロナウイルス感染症拡大防止対応」参照）

1. 目的

「原子力災害拠点病院」は、災害拠点病院であることを要件として指定されることとなっており、24時間緊急対応し、災害発生時に被災地の傷病者等の受入れ及び搬出を行うことが可能な体制が求められています。

本研修は原子炉施設等が立地する道府県等において、原子力災害が起きた際にも、医療拠点となる病院として機能できる様に、放射線による被ばくや放射性物質による汚染を含む被災者の受入れ対応などについて高度・専門的な知識と技能を習得し、中心的役割を担える人材の養成を目的とする専門的な教育研修です。

※「原子力災害拠点病院」の施設要件については、「原子力災害拠点病院等の施設要件」（平成30年7月 原子力規制庁）を参照してください。

2. 対象者

原子力災害拠点病院もしくはその候補となる病院の医師、看護師、診療放射線技師等のうち、被ばく医療基礎の知識がある方が望ましい。

※ 被ばく医療基礎の知識がない方は事前学習を前提とします。

3. 募集人数及び研修日

募集人数 10名

研修日 令和2年9月22日（火）～9月24日（木）原則2泊3日の宿泊研修

4. 実施場所

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号（最寄駅 JR 稲毛駅）

量研 放射線医学総合研究所 研修棟

アクセス <https://www.qst.go.jp/site/about-qst/1315.html>（量研ホームページ）

5. 研修内容

別記 時間表 (案) のとおり。

「原子力災害時の医療、被ばく医療の人材育成、統一化された研修のために、原子力規制庁放射線対策委託費（放射線安全規制研究戦略的推進事業費）放射線安全規制研究推進事業（包括的被ばく医療の体制構築に関する調査研究）」において作成された標準テキストを使用します。（参考資料「標準テキストをダウンロードする手順」参照）

到達目標

- 現場での除染処置がなく、汚染の程度が不明な患者でも受入れることができる。
- 原子力災害拠点病院における医療チームの中心的メンバーとなることができる。
- 被ばく・汚染した患者に関し、自身の病院で何が対応可能か、何を院外に依頼するかを判断できる。

カリキュラムの特徴

- 複合災害、大規模災害等による原子力発電所の事故も含め、原子力災害に伴う放射線事故を想定。
- 想定問題を医療及び線量評価の面からグループ討議する机上演習。
- 実際の被ばく医療施設を使用しての患者受入れ・除染処置等を含めた実習。

6. 受講料

無料。

本研修は原子力災害時の医療体制整備に資するため、原子力規制庁からの委託事業の一環として実施され、原子力災害時の医療拠点となる病院の中核人材等養成のための教育研修と位置づけられています。

7. 交通費・宿泊費について

当機構の旅費規程に従い、交通費及び宿泊費を支給致します。詳細については、受講決定後にお知らせ致します。

8. 申込要領

申込受付期間 令和2年7月8日（水）～7月31日（金）

研修課程 Web 申込フォームより申し込んでください。

<https://www.nirs.qst.go.jp/form.html>

- 申込コースのプルダウンより「第1回原子力災害医療中核人材研修」を選んで下さい。また、研究交流施設（宿舎）利用のプルダウンは「宿泊施設を利用しない」にしてください。（ホテルなどを御自分でご予約ください）
- E-mail アドレスは添付ファイルの受信が可能なもの(PC、スマートフォン等)を記入して下さい。@qst.go.jp のドメインを受信できるよう、設定をお願いします。
- 申し込むボタンを押して申込みが完了すると前画面の取戻しはできません。お申込み内容の確

認画面は控えとして各自で保存して下さい。

※ 量研以外で開催する研修についてはそれぞれの募集要項の申込要領に従ってください。

9. 受講決定通知

- 研修開始日の3週間前までに所属長及び本人宛の結果を文書で通知します。応募者多数の場合には受講者数を調整させていただくことがあります。(受講決定は先着順ではありません)
なお、研修開始日の3週間を経過しても受講決定通知が届かない場合は下記問い合わせ先までご連絡下さい。
- 受講決定者には経費支払いに関する情報及び書類、研修日程等受講に必要な諸事項を同封します。
- 受講決定後でも社会通念上相当とする理由がある場合は受講決定を取り消す場合があります。
- 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関連した緊急事態宣言等が発出された場合は、当該地域での研修開催の中止あるいは当該地域からの受講を取り消す場合があります。(別紙参照)

10. 問い合わせ先

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療部門

高度被ばく医療センター 被ばく医療部 被ばく医療研修課(量研 研修担当)

Tel: 043(379)7808

Fax: 043(206)4095

E-mail: hibaku-training@qst.go.jp

個人情報の取り扱いについて

申込に際して御記入いただきました氏名、住所、口座番号等の個人情報は、当機構の個人情報保護規程に基づき厳重に取り扱い、本研修の受講記録として管理・保管すること及び、下記の利用目的以外では一切使用致しません。

- ① 原子力施設立地・隣接道府県、原子力規制庁、高度被ばく医療支援センター及び原子力災害医療・総合支援センターからの受講記録照会のため
- ② 受講者への連絡のため
- ③ 講師への情報提供のため
- ④ 研修終了後のフォローアップのため
- ⑤ その他研修業務の遂行のため

令和2年度 第1回 原子力災害医療中核人材研修 時間表 (案)

実施日 令和2年9月22日(火)～9月24日(木)

実施機関 量子科学技術研究開発機構

1日目 9月22日(火)

講義場所 研修棟 3階

開始	終了	時間	タイトル
9:00	9:10	0:10	開会式
9:10	9:40	0:30	プレテスト
9:40	10:10	0:30	講義 1 医療機関での原子力災害対策
10:10	10:40	0:30	講義 2 医療機関での初期対応
10:40	10:50	0:10	休憩
10:50	11:20	0:30	講義 3 放射線障害の診断と治療
11:20	12:00	0:40	講義 4 外部被ばくと内部被ばくの線量評価
12:00	13:00	1:00	昼食
13:00	15:30	2:30	実習 1 放射線測定器の取扱い
15:30	15:40	0:10	休憩
15:40	16:40	1:00	実習 2 防護装備着脱

2日目 9月23日(水)

9:00	9:30	0:30	講義 5 放射線管理要員の役割
9:30	10:00	0:30	講義 6 放射線事故事例
10:00	10:20	0:20	移動
10:20	11:10	0:50	実習 3 WBC
11:10	12:40	0:30	実習 4 医療施設の養生
11:10	12:40	0:30	実習 5 除染(蛍光剤使用)
11:10	12:40	0:30	実習 6 傷病者の汚染検査
12:40	14:00	1:20	昼食
14:00	17:00	3:00	机上演習

3日目 9月24日(木)

9:00	9:30	0:30	実習準備 役割分担
9:30	9:50	0:20	移動
9:50	11:20	1:30	実習 7 被ばく医療
11:20	11:30	0:10	休憩
11:30	13:00	1:30	実習 7 被ばく医療
13:00	14:10	1:10	昼食
14:10	14:50	0:40	講義 7 原子力災害時のメンタルヘルス
14:50	15:20	0:30	ポストテスト
15:20	16:20	1:00	総合討論
16:20	16:40	0:20	修了式

(注) 時間表は随時見直されていますので、若干の変更があることをお含みおき下さい。

講義及び実習は、予定より延びることがありますので御承知置き下さい。

量子科学技術研究開発機構 新型コロナウイルス感染症拡大防止対応

1 感染者、または感染疑い者が出たときの対応

1.1 研修の中止・中断基準

<研修開始前>

- 防護装備不足
研修開始日の1ヶ月前の時点でも防護装備・消毒剤等の調達ができない場合。
- 開催地域での感染再拡大
感染状況の悪化による再度の緊急事態宣言発令等、政府・自治体による活動自粛の要請がなされる事態に至る場合。

<研修開催中>

- 研修に参加している受講者・講師・スタッフ等 参加者が、体調不良等¹⁾を自覚した場合。
- 研修に参加している受講者・講師・スタッフ等 参加者が、濃厚接触者と判明した場合。

1.2 研修生・オブザーバーに参加辞退・中断していただく条件

以下の場合当機構研修担当者に報告することを義務づける。

<研修開始前>

- 研修参加2週間前から前日までに、受講予定者の本人が体調不良¹⁾を自覚した場合。
- 研修参加2週間前から前日までに、本人が濃厚接触者となった場合。
- 地域の感染状況の変化のため、所属機関が参加不許可とした場合。
- 受講者・講師・スタッフの家族等の同居人が発熱あるいはクラスターに含まれると判明した場合。

<研修開催中>

- 体調不良¹⁾を自覚した場合。
- 濃厚接触者と判明した場合。
- 受講者・講師・スタッフ等 参加者の家族等の同居人が発熱あるいはクラスターに含まれると判明した場合。(本人の受講・参加を中止するが、家族等の同居人の感染が確認されない限り研修は中止しない)

1.3 受講後に受講者・講師・スタッフ等 参加者が感染疑いとされた・感染確認された場合

受講者が、受講後2週間後までに保健所等によって新型コロナウイルス感染確認された際には、当機構研修担当者に報告することを義務づける。その際に、当機構は受講者・講師・スタッフ等 参加者に濃厚接触の可能性のある旨を連絡する。

1.4 その他(受講者が不利益を被らないための対応)

- 感染症対策に伴う研修の中止、中断、参加辞退に伴う交通費、宿泊費のキャンセル手数料を支払う。
- 感染症対策に伴う研修の中断、参加辞退のため修了証が発行されない場合は「受講した講義等の受講証」や「体調不良(自覚)による、研修の安全確保のための受講中断であること」を示す文書を発行する。
- 感染症対策に伴う研修の中止、中断、参加辞退の場合には、当機構で開催する次回研修の受講を優先的に取扱う。

2 感染拡大防止の対応

2.1 手指衛生

- 入室時毎の手指アルコール消毒を徹底する。
- 洗面所使用時にはハンドソープでの手洗いを励行する。
- 実習および机上演習前後は必ず全員が手洗いをする。

2.2 換気²⁾

換気装置やドア、窓の開放等による 30m³/h/人以上（厚生労働省「多数の人が利用する商業施設等」の指針）の換気状況を確保する。

2.3 ユニバーサルマスクング（常時マスク着用）による飛沫拡散防止

受講者・講師・スタッフ等 参加者全員の常時マスク着用を義務付ける。

2.4 Social (physical) distancing

- 今年度の募集人数を例年の半分以下とする。
- 講義室では長机 1 台につき受講者 1 名とし、受講者間の間隔を 1m 以上確保する。
- 実習の同時並行化により実習時の密集を避ける。
- 実習はひとりひとりで行う内容にし、濃厚接触を避ける。
- 机上演習時の話し合いは必須であるが、飛沫感染を防止する対策を講じる。

2.5 受講者・職員の疑い例の早期発見

毎朝入室時に受講者・講師・スタッフ等 参加者全員の体調を確認・記録する

- ① 非接触式体温計による検温
 - ② 症状チェックリスト：発熱（37.5℃以上あるいは本人の平熱より明らかに高い場合）、強い倦怠感、味覚・嗅覚異常、咳嗽、息切れ、咽頭痛、筋肉痛、悪寒
- ※ 症状等の記録は保管し期限を決めて破棄する。また、必要に応じて記録を保健所等に提供する。

2.6 使用物品表面のアルコール消毒

- 講義室の机は使用者の変更時と一日の終了後にアルコール消毒をする。
- 講義室のドアノブ周囲は講義時間毎にアルコール消毒をする。
- トイレ便座の清拭消毒剤を設置し、使用を励行する。
- 受講者・講師等 参加者が他の机を触れずに次席まで行けるように通路を確保し、自分の机、いす以外には触れないことを徹底する。

【連絡先】

千葉県稲毛区穴川 4-9-1

量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療部門

高度被ばく医療センター 被ばく医療部 被ばく医療研修課（量研 研修担当）

電話 043-379-7808 ※担当がテレワークの場合は後日折り返し電話になります

E-mail hibaku-training@qst.go.jp

1) 以下の項目に一つでも当てはまる場合。(研修開催中は量研で毎朝確認する。)

37.5°C以上 (あるいは本人の平熱より明らかに高い場合)、強い倦怠感、味覚・嗅覚異常、咳嗽、息切れ、咽頭痛、筋肉痛、悪寒

2) 研修棟施設の換気能力

室名	容積	換気量 (非管 理区域の場 合、最大値)	換気量より許 容される人員 数(1名あたり 30m ³ /h以上)	設計上の (換 気量だけから ではない) 定 員
	(m ³)	(m ³ /h)	(人)	(人)
3F 講義室 3	821	3300	110	108
2F 講義室 2	418	1350	45	45
2F 講義室 1	342	1350	45	45
3F 実習室 3	342	900	30	30
2F 実習室 2	251	2600	87	36
2F 測定室 2	205	1050	35	30
1F 実習室 1	417	2100	70	60
1F 測定室 1	251	1300	43	36

標準テキストをダウンロードする手順

1. 「量研」で検索して量子科学技術研究開発機構のホームページ (<https://www.qst.go.jp/>)の「研究紹介」→「高度被ばく医療センター」をクリックします



下へスクロール

<https://www.qst.go.jp/>

2. 高度被ばく医療センターページの参考リンクの「原子力災害医療研修テキスト」をクリックします




下へスクロール

<https://www.qst.go.jp/site/qms/20523.html>

3. 【資料ダウンロード申請ページ】をクリックします

原子力災害医療研修テキストのダウンロードについて

掲載日：2020年2月28日更新 

各種原子力災害医療研修テキストのダウンロードについて

以下の研修のテキストをファイル形式を選んでダウンロードができます。

本資料は、原子力災害時の医療、被ばく医療の人材育成、統一化された研修のために、原子力規制庁放射線対策委託費（放射線安全規制研究総合的推進事業費）放射線安全規制研究推進事業（包括的被ばく医療の体制構築に関する調査研究）において作成されました。

原子力災害拠点病院等研修資料

原子力災害医療派遣チームコース

- ・2019原子力災害研修標準テキスト-派遣チーム1-原子力災害医療派遣チームの活動
- ・2019原子力災害研修標準テキスト-派遣チーム2-原子力災害時の救護所活動
- ・2019原子力災害研修標準テキスト-派遣チーム3-原子力災害時のリスコミ

テキストのダウンロードをご希望の方は、下記からご申請ください。

【資料ダウンロード申請ページ】

申請後、ダウンロード用ページのアドレスとID/Pwを個別にお伝えします。

下へスクロール

<https://www.qst.go.jp/soshiki/101/37231.html>

4. 下記の項目に入力し「確認する」ボタンをクリックします

テキストダウンロードの前に属性をお教えてください

テキストダウンロードの前に属性をお教えてください
※アンケートフォームは、ブラウザのクッキー(Cookie)を利用しています。(Cookie対応のブラウザでないとは動作しません) お問い合わせフォームを開いてから60分を超えた場合、内容の送信ができなくなりますので、もし送信までに時間がかかる際には、事前にメモ帳やワードなどで文章を作成してから問合せフォームに貼り付けてください。

Q1：勤務地を選択ください（必須）

東京都 ▼

Q2：勤務先属性を選択ください（必須）

都道府県 ▼

Q3：その他（自由記載）を選択の場合以下に記載ください

Q4：使用目的を選択ください（必須）

原子力災害医療の研修での講義 ▼

Q5：その他（自由記載）を選択の場合以下に記載ください

Q6：メールアドレスを記入ください（必須）

入力したメールアドレスにダウンロードサイト、ID/Pwをお送りします

(再入力)

確認する

<https://www.qst.go.jp/ques/questionnaire.php?openid=18&check>


5. 確認画面が出ますので修正箇所がない場合は「送信する」をクリックします

Q5 : その他 (自由記載) を選択の場合以下に記載ください

Q6 : メールアドレスを記入ください (必須)

入力したメールアドレスにダウンロードサイト、ID/PWをお送りします
hashiguchi.naoko@qst.go.jp

6. 送信完了とともに、メールが届きますのでテキストダウンロードページの URL をクリックします

 webmaster@qst.go.jp hashiguchi.naoko@qst.go.jp
ご送信ありがとうございました

ご協力いただきありがとうございました。
以下にてテキストをダウンロードください。

テキストダウンロードページ <https://www.qst.go.jp/site/txtdownload/>

ID : qms-txtdownload
PW : p#Mr8zQk

ご回答頂きました内容は以下の通りです。

ID-18 : テキストダウンロードの前に属性をお教えください

Q: 勤務地を選択ください
A: 北海道

Q: 勤務先属性を選択ください
A: 原子力災害拠点病院

7. メールの ID(ユーザー名)と PW (パスワード) を入力しログインします

ログイン
https://www.qst.go.jp

ユーザー名

パスワード

8. テキストダウンロード用ホームにはいれます

中核人材研修と派遣チーム研修のテキストを取得したいときは「原子力災害医療中核人材コース一括ダウンロード」と「原子力災害医療派遣チームコース一括ダウンロード」をクリックします

テキストダウンロード用ホーム

各種原子力災害医療テキストダウンロード選択・実行

ダウンロードしたい研修のファイル形式を選んでテキストをダウンロードができます。

PDF、パワーポイント、一括ダウンロード（PDF）をクリックし、入手してください。

全てのパワーポイントファイルは、読み取り専用で開いてください。

本資料は、原子力災害時の医療、被ばく医療の人材育成、統一化された研修のために、原子力規制庁放射線対策委託費（放射線安全規制研究戦略的推進事業費）放射線安全規制研究推進事業（包括的被ばく医療の体制構築に関する調査研究）において作成されました。

原子力災害拠点病院等研修資料

- 2019原子力災害拠点病院等研修資料
 - ☞ [拠点病院等研修資料 \[PDFファイル/1.59MB\]](#)
 - ☞ [拠点病院等研修資料 \(パワーポイント\) \[その他のファイル/6.37MB\]](#)

下へスクロール

原子力災害医療中核人材コース

- ☞ [原子力災害医療中核人材コース一括ダウンロード \[PDFファイル/19.59MB\]](#)
- 2019原子力災害研修標準テキスト-中核人材1-医療機関の原子力災害対策
 - ☞ [医療機関の原子力災害対策 \[PDFファイル/3.45MB\]](#)
 - ☞ [医療機関の原子力災害対策 \(パワーポイント\) \[その他のファイル/7.25MB\]](#)
- 2019原子力災害研修標準テキスト-中核人材2-医療機関での初期対応
 - ☞ [医療機関での初期対応 \[PDFファイル/3.69MB\]](#)
 - ☞ [医療機関での初期対応 \(パワーポイント\) \[その他のファイル/2.94MB\]](#)
- 2019原子力災害研修標準テキスト-中核人材3-放射線障害の診断と治療
 - ☞ [放射線障害の診断と治療 \[PDFファイル/2.22MB\]](#)
 - ☞ [放射線障害の診断と治療 \(パワーポイント\) \[その他のファイル/446KB\]](#)
- 2019原子力災害研修標準テキスト-中核人材4-外部被ばくと内部被ばくの線量評価
 - ☞ [外部被ばくと内部被ばくの線量評価 \[PDFファイル/4.37MB\]](#)
 - ☞ [外部被ばくと内部被ばくの線量評価 \(パワーポイント\) \[その他のファイル/6.95MB\]](#)
- 2019原子力災害研修標準テキスト-中核人材5-原子力災害時のメンタルヘルス
 - ☞ [原子力災害時のメンタルヘルス \[PDFファイル/1.45MB\]](#)
 - ☞ [原子力災害時のメンタルヘルス \(パワーポイント\) \[その他のファイル/126KB\]](#)
- 2019原子力災害研修標準テキスト-中核人材6-放射線管理要員の役割
 - ☞ [放射線管理要員の役割 \[PDFファイル/1.66MB\]](#)
 - ☞ [放射線管理要員の役割 \(パワーポイント\) \[その他のファイル/122KB\]](#)
- 2019原子力災害研修標準テキスト-中核人材7-原子力災害事例
 - ☞ [原子力災害事例 \[PDFファイル/3.66MB\]](#)
 - ☞ [原子力災害事例 \(パワーポイント\) \[その他のファイル/6.03MB\]](#)

原子力災害医療派遣チームコース

- ☞ [原子力災害医療派遣チームコース一括ダウンロード \[PDFファイル/5.19MB\]](#)
- 2019原子力災害研修標準テキスト-派遣チーム1-原子力災害医療派遣チームの活動
 - ☞ [原子力災害医療派遣チームの活動 \[PDFファイル/1.3MB\]](#)
 - ☞ [原子力災害医療派遣チームの活動 \(パワーポイント\) \[その他のファイル/117KB\]](#)
- 2019原子力災害研修標準テキスト-派遣チーム2-原子力災害時の救護所活動
 - ☞ [原子力災害時の救護所活動 \[PDFファイル/2.31MB\]](#)
 - ☞ [原子力災害時の救護所活動 \(パワーポイント\) \[その他のファイル/2.79MB\]](#)
- 2019原子力災害研修標準テキスト-派遣チーム3-原子力災害時のリスクミ
 - ☞ [原子力災害時のリスクミ \[PDFファイル/1.69MB\]](#)
 - ☞ [原子力災害時のリスクミ \(パワーポイント\) \[その他のファイル/2.65MB\]](#)

STEP1: フォーム入力 > STEP2: 内容確認 > STEP3: お申し込み完了

お申し込み

下記フォームにご記入の上、「内容確認」へお進みください。（*は必須入力項目です）

[※お申し込みにおける個人情報の取扱いについて](#)

*必須項目

申込コース

※1 コースにより学生の方に【受講料無料、または割引制度】があります。申し込み時の提出書類等、募集要項・案内をご確認ください。

※2 「防護一般・短期課程」「文科系学生のための防護基礎課程」「防護健康影響課程」「防護一般課程」「健康影響短期課程」にお申し込みの学生の方へ：

受講理由欄に「所属機関の最寄り駅、もしくはバス停」と「飛行機利用希望の有無」のご記入をお願いいたします。

申込コース*

基本情報

氏名* 姓 名

ふりがな* せい めい

年齢* 満 歳

性別

E-mailアドレス*
(確認用アドレス)*

所属先情報

所属機関名*

部課名
または
学部・学科名

所属長名

郵便番号* 〒 -

所在地*

電話番号* - -

結果通知送付先

※所属先以外へ送付希望の場合に、ご記入ください。

宛名

郵便番号 〒 -

住所

緊急時連絡先

* 必須項目

電話番号 * - -

その他の情報

職歴と職務内容 *

職種 *

受講理由 *

研修歴

資格等

研究交流施設
(宿舎) 利用 *

過去の申込履歴

 申込コースが選択されていません。

内容確認へ

or [リセット](#)

お申し込みにおける個人情報の取扱いについて

お申込に際してご記入いただきました氏名、住所等の個人情報は、当所の個人情報保護規程に基づき厳重に取り扱い、下記の利用目的以外では一切使用致しません。

(利用目的)

1. 受講生の勤務先への緊急連絡のため
2. 講師への情報提供のため
3. 研修終了後のフォローアップのため
4. その他研修業務の遂行のため

(研修棟で取り扱う皆様の個人情報に関するお問い合わせ先)

量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 人材育成センター 個人情報取扱管理担当

E-mail: hrdc-nirs@qst.go.jp

FAX: 043-251-7819

お問い合わせ

ご不明な点は下記の連絡先までお問い合わせください。

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 人材育成センター 研修業務室

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号

Tel: 043-206-3048 (ダイヤルイン)

Fax: 043-251-7819

E-mail: kenshu@qst.go.jp

サイトのご利用にあたって 個人情報の取扱いについて [関連リンク](#)